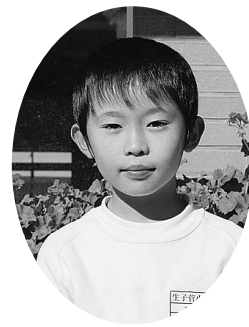


第40回茨城新聞小学生 読書感想文コンクール 市内の5人が入賞



▲県知事賞に輝いた
金久保英崇さん

茨城新聞読書感想文コンクールで、金久保英崇さん(生子菅小2年)の作品が最高位の茨城県知事賞に輝きました。市内からは外丸弥央さん(生子菅小3年)、古矢陽奈子さん(弓馬田小3年)、鈴木愛子さん(飯島小6年)、富山怜央さん(七郷小6年)も入賞を果たしています。

同コンクールは本を読むことをとおして、創造する力をみがき、その思いを表現することで多くの人に感動を伝え、自らも成長して欲しい、と開催されているものです。

県知事賞に輝いた金久保さんは、「森のおかしやさん」という本を読み、人の立場になつて考えることの大切さや周

囲への感謝の気持ちを自分のことばで表現していると評価されました。

茨城県発明工夫展 県教育長賞

角度ちよこつと調整定規
逆井遥暉さん(中川小6年)



▲教育長賞に輝いた逆井遥暉さん

さきごろ開催された茨城県発明工夫展で、中川小学校6年生の逆井遥暉さんの『角度ちよこつと調整定規』が茨城県教育委員会教育長賞に輝きました。

逆井さんの作品は、授業で黒板に線を引く時など、自由に角度を調整しながら簡単に線を引けるように、と考えたもので、児童だけでなく先生も重宝しそうな作品です。持ちやすいように把手や磁石を

つけるなど、使いやすいようにとの心づかいがいくつも施されています。

教育振興大会 91人(団体)に表彰状



▲教育の振興に尽力された91人に表彰状が贈られました

さきごろ市民音楽ホールで教育振興大会が開催され、教育の重要性を確認するとともに、長年にわたり教育活動に尽力されたかたや各種大会などで活躍されたかたなど計91人(団体)の表彰が行われました。

また、大会終了後には各学校代表による「中学生の主張」や猿島中学校吹奏楽部の発表などが行われました。

子ども夢・アートアカデミー 芸術家を迎え 美術の表現を学ぶ



▲粘土を使った表現なども学びました

さきごろ東中学校で、日本芸術院会員で下妻市出身の彫刻家市村緑郎さんを講師に迎え、2年生全員での美術の授業が開催されました。子ども・夢・アートアカデミー事業として開催されたもの。市村さんは簡単な図形で速さや重さの状況の違いの表現方法や、紙粘土を使ってどのような表現するかを生徒たちに考えさせていました。

この事業は文化庁の補助事業で、文化芸術の素晴らしさや夢をもって生きることの大切さを伝え豊かな心を育成し

ようと、芸術家の出身地域などで開催されているものです。

中学生と幼稚園児で 交流会

さきごろ七郷幼稚園児と南中学校生徒の交流会が七郷幼稚園で開催されました。南中学校3年生の家庭科「保育」の授業の一環として行われたもの。中学生たちはそれぞれ手作りのおもちゃを持ち、幼稚園児たちといかに楽しく遊ぶかを考えながら交流を楽しんでいました。



▲お互い交流を楽しんでいました